

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	森林を育成する治山		事業番号、事業名		34 水源地域等保安林整備(奥地保安林保全緊急対策)		補助・単独別		補助		林務部 森林づくり推進課	
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
1	うちやま 内山 〔佐久市〕	谷止工10個 山腹工0.44ha 土留工7個 実播工500㎡ 筋工・植栽工 水路工100m ほか 森林整備41.00ha 〔工期:H19~H23〕	谷止工1個 山腹工0.25ha 筋工332m 伏工 ほか 森林整備16.00ha	谷止工4個 森林整備14.00ha	谷止工4個 森林整備14.00ha	必要性 A	74%	H22までに山腹工完了。谷止工6個完了。H23は谷止工4個と森林整備を実施し完了予定。	平成19年台風9号災害により多くの山腹崩壊、風倒木被害が発生した流域において、崩壊地復旧、被災森林の復旧を進め、災害に強い森林の造成を図っている。下流の砂防事業との調整により上流部の発生源に対する対策を追加して事業を継続し、H23年度での完了を図る。	新たな溪流荒廃に対する追加対策の必要性が認められる。平成23年度での完了を図る。	「拡大」	
		1億8970万円	2910万円	5000万円	5000万円	重要性 A	特記事項 ○H20変更 工法変更(金額・工期変更無し) 全体計画調査を行い工法変更を行った。 ○H23変更 谷止工2個増 事業費2970万円増 砂防事業との調整の結果、上流部の発生源に本事業で谷止工を実施する。 B/C(費用対効果)=2.10					
						効率性 A	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
2	ひらいし 平井寺 〔上田市〕	山腹工3.40ha 土留工4個 筋工・伏工 落石防護壁72m 落石固定工4,960㎡ 森林整備 61.00ha 〔工期:H19~H23〕	山腹工0.33ha 土留工4個 筋工・伏工 落石固定工1,300㎡ 森林整備46.00ha	山腹工0.20ha 落石固定工1,800㎡	山腹工0.20ha 落石固定工1,800㎡	必要性 A	82%	H22までに落石防護柵工と森林整備の全てと落石固定工の60%を実施。H23は残る落石固定工を実施し完了予定。	H19年の山林火災による焼失区域における森林の復旧を図り人家等の保全を図っている。落石防止施設と森林整備の一体的実施により、森林の水源かん養機能や土砂流出防止機能を向上させる。H22年2月に発生した奈良尾地籍の山腹崩壊地についても集落に近接しており緊急性が高いため事業を変更のうえ継続し、H23年度での完了を図る。	新たな崩壊に対する追加対策の必要性が認められる。平成23年度での完了を図る。	「拡大」	
		2億6960万円	9390万円	4890万円	4890万円	重要性 B	特記事項 ○H22変更 落石防護柵118m増、落石固定工600㎡増、森林整備13ha増 事業費9,600万円増 工期1年延長 林野火災跡地の森林状況を精査の結果、落石対策工数量の増 ○H23変更 山腹工0.2ha増、落石防護柵166m減、落石固定工360㎡増、森林整備15ha増 事業費3960万円増 ・H22.2.28発生降雨による奈良尾地籍の山腹崩壊への対策を追加実施。 ・落石対策工法、配置を再検討の結果、数量変更。併せて森林整備の計画量を見直し B/C(費用対効果)=17.00					
						効率性 A	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
3	かざち 釜口 〔岡谷市〕	谷止工1個 床固工5個 流路工415m 山腹工0.51ha 土留工5個 水路工177m 筋工、伏工 作業車道1,700m 森林整備81.00ha ほか 〔工期:H19~H24〕	森林整備5.00ha 作業道570m	流路工139m 森林整備12.00ha 作業道600m	流路工139m 森林整備32.00ha 作業道600m	必要性 A	69%	計画どおり進んでいる。H22までに山腹工、谷止工、床固工完了、流路工は67%作業道は65%、森林整備は60%完了。H23は引続き流路工、作業道、森林整備を実施。	平成18年7月豪雨災害発生エリアで、森林整備と施設整備を一体的に実施して災害に強い森林をつくる事業であり緊急度が高い。地域の森林整備に取り組む機運の高まりに呼応して里山の整備を進展させるため、事業を継続する必要がある。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
		2億5920万円	4360万円	6110万円	8020万円	重要性 A	特記事項 特になし。 B/C(費用対効果)=7.76					
						効率性 A	緊急性 A	住民参加状況等 工事施工地において地元住民が主体的に植樹祭を行うなど、地元と一体となって計画を進めている。				

分野	森林を育成する治山		事業番号、事業名		34 水源地域等保安林整備(奥地保安林保全緊急対策)		補助・単独別		補助		林務部 森林づくり推進課	
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
4	にしやま 西山	谷止工14個 床固工6個 山腹工0.70ha 土留工3個 水路工371m 森林整備107.00ha 〔工期:H19~H24〕	森林整備35.60ha	谷止工2個 床固工4個 森林整備34.00ha	谷止工5個 床固工6個 森林整備37.00ha	必要性 A	59%	H22までに谷止工9個及び山腹工完了、森林整備の65%を完了。H23は引き続き谷止工2個、床固工4個及び森林整備を実施する。	平成18年7月豪雨災害発生エリアで、さらに平成21年8月豪雨により山腹崩壊、溪流浸食が発生し、緊急に下流域の保全を図る必要が生じたため、事業区域を拡大して事業を継続し、流域の災害防止効果を高めていく必要がある。	新たな溪流荒廃に対する追加対策の必要性が認められる。	「拡大」	
		〔諏訪市〕	3億3300万円	1960万円	6340万円	1億3700万円	重要性 A	特記事項 H21年8月豪雨災害を受け、大熊区の要望により保安林を拡大指定し、森林整備事業を推進している。				
					効率性 A	H23変更 床固工6個増 事業費7300万円増 H21.8月豪雨災により後山地区の蛇ヶ沢において溪流の荒廃が進行しているため、事業エリアを拡大してH23より実施する。						
					緊急性 A	B/C(費用対効果)=8.53 住民参加状況等 大熊区で保安林指定推進委員会を設け活動している。						
5	ひがしやま 東山	谷止工6個 山腹工0.06ha 落石防護網工569㎡ 森林整備60.00ha 〔工期:H19~H24〕	谷止工1個 森林整備10.00ha	谷止工2個 森林整備20.00ha	谷止工5個 森林整備41.00ha	必要性 B	35%	計画どおり進んでいる。 H22までに谷止工1個及び山腹工を実施、森林整備の33を完了。H23は引き続き谷止工2個と森林整備を実施する。	H19年度より森林整備中心の事業を進めてきたが、H21年8月の豪雨災により荒廃が進んだ集落上部の溪流への対策工を追加し事業を実施している。重要な保全対象に近接しているため、施設整備と森林整備の推進のために事業を継続し、地域住民との連携により災害に強い森林をつくる。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」	
		〔諏訪市〕	1億7250万円	2950万円	5460万円	1億1170万円	重要性 A	特記事項 H22変更 谷止工6個増 事業費9,060万円増 H21年8月豪雨災害により、集落上部の溪流内荒廃が進んだため計画を変更した。				
					効率性 A	B/C(費用対効果)=6.90						
					緊急性 A	住民参加状況等 毎年危険地区/パトロールを実施しており(三ノ久保・神戸・鎌倉)、併せて治山事業施工地の見回りを実施している。						
6	にしちの 西茅野	谷止工10個 森林整備85.00ha 〔工期:H21~H24〕	谷止工1個 森林整備15.00ha	谷止工3個 森林整備20.00ha	谷止工6個 森林整備53.00ha	必要性 B	50%	計画どおり進んでいる H22までに谷止工4個、森林整備の34%を完了。H23は引き続き谷止工3個と森林整備を実施する。	H18年7月、H21年8月の豪雨災により大きな被害が発生した地域であり、重要な保全対象に近接しているため、施設整備と森林整備の推進のために事業を継続し、地域住民との連携により災害に強い森林をつくる。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」	
		〔茅野市〕	2億1200万円	3490万円	3490万円	1億1790万円	重要性 A	特記事項 平成21年8月豪雨災害における被害を踏まえ、地元区、茅野市等と共に災害に強い森林づくりや施設整備に取り組んでいる。また、平成21年8月豪雨などのゲリラ豪雨被害に対応し、施設等整備位置を見直して、荒廃溪流及び周辺森林の整備を実施する。				
					効率性 A	B/C(費用対効果)=15.61						
					緊急性 A	住民参加状況等 地元林野組合等が主体となって、地域森林の主体的な整備を行える体制整備を進めている。						

分野	森林を育成する治山		事業番号、事業名	34 水源地域等保安林整備(奥地保安林保全緊急対策)		補助・単独別	補助	林務部 森林づくり推進課			
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
7	すわがた 諏訪形 〔伊那市〕	谷止工5個 床固工5個 護岸工46m 流路工162m 山腹工0.20ha 土留工3個 実播工970㎡ 水路工50m 筋工、伏工 森林整備31.00ha 〔工期:H18~H24〕	床固工2個 山腹工0.10ha 土留工3個 水路工40m 実播工720㎡ 筋工、伏工	谷止工3個 床固工1個 護岸工46m	谷止工4個 床固工3個 護岸工46m 流路工162m 森林整備28.00ha	必要性 A	53%	H22までに谷止工1個、床固工2個、山腹工完了。H23は引き続き谷止工3個、床固工1個と護岸工を実施する。	平成18年7月豪雨災害発生エリアで、森林整備と施設整備による復旧を進めているが、平成22年4月に事業実施地内で新たに発生した山腹及び溪岸崩壊についても本事業の溪間工計画を変更し対応することとし、H23年度も引き続き計画的に事業を継続実施する必要がある。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 H22変更 山腹工0.2ha、床固工3個増、事業費5,680万円増 平成21年7月、宮の沢溪流沿いに新たな山腹崩壊が発生したため計画を変更した。 H23変更 谷止工1個増、事業費 1,510万円増 平成22年4月、貝付沢溪流沿いに新たな山腹及び溪岸崩壊が発生したため計画を変更する。 B/C(費用対効果)=5.20				
						効率性 A					
			2億510万円	3270万円	4590万円	9690万円	緊急性 A	住民参加状況等 地元住民をメンバーに災害から守る委員会が結成され、広葉樹の育成に取り組んでいる。			
8	りやまとう 電東 〔伊那市〕	山腹工0.10ha 実播工560㎡ 森林整備307.00ha 〔工期:H18~H24〕	森林整備56.00ha	山腹工0.10ha 実播工560㎡ 森林整備40.00ha	山腹工0.10ha 実播工560㎡ 森林整備217.00ha	必要性 A	17%	H22までに森林整備の8割が完了。H23はH22年7月豪雨による山腹崩壊地を復旧する他、引き続き森林整備を実施する。	伊那市の水源地である長谷地区での森林整備を中心とした整備を実施していたが、H22年7月豪雨により計画地内で山腹崩壊が発生しており、施設整備も併せて実施する必要があることから計画を変更したうえで、継続して事業を実施する必要がある。	新たな崩壊に対する追加対策の必要性が認められる。	「拡大」
						重要性 A	特記事項 H23変更 山腹工0.10ha追加 事業費1,850万円増 H22年7月豪雨災害により山腹崩壊が発生したことから、緊急に対応する必要性が生じた				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=4.34				
			1億3760万円	2920万円	5460万円	1億1440万円	緊急性 A	住民参加状況等 地区代表により、危険箇所パトロールを行っている。			
9	ひぐち 樋口 〔辰野町〕	谷止工7個 床固工1個 護岸工229m 山腹工0.30ha 土留工1個 実播工1,800㎡ 水路工60m ほか 森林整備30.00ha 〔工期:H19~H24〕	谷止工1個 護岸工15m 山腹工0.10ha 土留工1個 実播工300㎡ ほか	床固工1個 護岸工64m 山腹工0.10ha 実播工750㎡	床固工1個 護岸工214m 山腹工0.10ha 実播工750㎡ 森林整備20.00ha	必要性 B	73%	計画どおり進んでいる。H22までに谷止工完了。山腹工2箇所完了。H23は床固工、護岸工、山腹工を実施。	平成18年7月豪雨災害及び平成21年8月豪雨災害発生エリアで、森林整備と施設整備を一体的に実施している。地域の森林整備への取り組みの機運も高まりつつあるため事業の継続が必要である。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 ○H22変更 谷止工2個増、山腹工2箇所増、事業費1,000万円増 H21年8月豪雨災害により山腹崩壊と溪流への土砂流出が発生したことから対策を追加。 ○H23変更 谷止工2個減、護岸工214m増、山腹工1箇所増 事業費1,110千円減 H22変更箇所の工法見直しによる変更と護岸工計画区間の上部山腹工対策を追加。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=5.80				
			1億2990万円	3270万円	2180万円	3540万円	緊急性 A	住民参加状況等 水路の堆積土等は地元住民による定期的な清掃の際に除去され、管理が行われている。			

分野	森林を育成する治山		事業番号、事業名	34 水源地域等保安林整備(奥地保安林保全緊急対策)		補助・単独別	補助	林務部 森林づくり推進課				
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
10	いじま 飯島 〔飯島町〕	谷止工1個 山腹工0.20ha 落石固定工1,030㎡ 土留工3個 水路工50m 筋工、伏工 森林整備45.00ha 〔工期:H22~H24〕	山腹工0.10ha 落石固定工 1,030㎡ 森林整備7.00ha	山腹工0.10ha 土留工3個 水路工50m 筋工、伏工 森林整備4.00ha	谷止工1個 山腹工0.10ha 土留工3個 水路工50m 筋工、伏工 森林整備38.00ha	必要性 A	30%	計画どおり進んでいる。 H22は山腹工1箇所が完了し、H23は残る山腹工1箇所及び森林整備を実施する。	河岸段丘の地質は、段丘崖の浸食の進行が早く、さらに道路、用水路等に被害が及ぶことが予想されるため、崩壊防止対策と森林整備を同時に進めて保安林の機能強化を図り、東海地震等に備える必要がある。	重要性が高く、必要性も認められる。	「継続」	
					重要性 A	特記事項 特になし						
					効率性 A							B/C(費用対効果)=3.31
			3270万円	1640万円	7440万円							
11	おおたいらせんごくたいら 大平千石平 〔宮田村〕	谷止工2個 谷止工嵩上1個 山腹工0.50ha 土留工10個 吹付工260㎡ 実播工1,050㎡ 水路工13m ほか 森林整備20.00ha 〔工期:H19~H24〕	山腹工0.10ha 土留工3個 吹付工260㎡ 水路工13m ほか 森林整備5.00ha	山腹工0.20ha 土留工2個 実播工250㎡ 水路工80m ほか	山腹工0.40a 土留工7個 実播工1,050㎡ 水路工120m ほか	必要性 A	64%	計画どおり進んでいる。 H22までに谷止工2個、谷止嵩上工1個、森林整備21ha、山腹工0.1haを実施。H23は引き続き山腹工を実施する。	平成18年災害、H21年災害の復旧を図る施設整備に加え森林整備を実施し、急峻・脆弱なため災害を繰り返す流域における減災効果を高めていく。一部自然復旧が見込まれる箇所の事業内容を見直し、継続して実施する必要がある。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
					重要性 A	特記事項 ○H22変更 山腹工1箇所(0.4ha)、森林整備5ha追加 事業費500万円増 山腹崩壊地の拡大崩壊による計画追加、山腹工計画地の工種見直しにより計画を変更した。 ○H23変更 谷止工1個減 事業費3,100万円減 残事業量調査により自然復旧が確認された箇所の谷止工見送り。						
					効率性 A							B/C(費用対効果)=2.20
			2億4800万円	3820万円	3600万円							
12	かみさと 上郷 〔飯田市〕	谷止工2個 山腹工0.24ha 土留工10個 水路工68m 筋工、伏工 森林整備70.00ha 〔工期:H20~H23〕	山腹工0.10ha 土留工3個 筋工、伏工 森林整備21.00ha	谷止工2個 森林整備6.00ha	谷止工2個 森林整備6.00ha	必要性 B	72%	H22までに山腹工完了。森林整備の90%完了 H23はH22年7月豪雨により新たに荒廃した溪流へ谷止工を施工すると共に残る森林整備を実施し完了予定。	S36年6月梅雨災害等による崩壊復旧地の森林の機能向上、災害予防のための森林整備を中心に実施しており、H22での完了を予定していたが、平成22年7月豪雨により新たに溪流の荒廃が発生したため、計画を変更し事業を継続し、平成23年度での完了を図る。	新たな溪流荒廃に対する追加対策の必要性が認められる。 平成23年度での完了を図る。	「拡大」	
					重要性 A	特記事項 H23変更 谷止工2個増 事業費1,500万円増 H22年7月豪雨により計画区域内の溪流より林道野底川線に土砂が流出したため、対策工を増。						
					効率性 A							B/C(費用対効果)=6.30
			6800万円	3270万円	1920万円							

分野	森林を育成する治山	事業番号、事業名	34 水源地域等保安林整備(奥地保安林保全緊急対策)			補助・単独別	補助	林務部 森林づくり推進課			
番号	ふりかた 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
13	かみひさかた 上久壁 〔飯田市〕	山腹工0.13ha 土留工7個 水路工23m 筋工、伏工 森林整備120.00ha 〔工期:H22～H25〕	山腹工0.13ha 土留工7個 水路工23m 筋工、伏工 森林整備21.00ha	森林整備30.00ha	森林整備99.00ha	必要性 A	26%	計画どおり進んでいる。 H22は境界が確定している箇所を優先して 森林整備と山腹工を実施。H23以降順次森 林整備を進めていく。	集落に近接した里山 地域であり、豪雨災害 への備えとして森林整 備に対する意識が地 域全体で高まっている ため、地域住民と連携 して森林整備を進め、 地質が脆弱な保安林 の防災効果を高めて いくため、事業を継続 する必要がある。	必要性、重要性、 緊急性が認められ る。	「継続」
		6000万円	1580万円	1200万円	4420万円	重要性 A	特記事項 地域は元気づくり支援金を取得し、この地域の森林環境や歴史 的環境の保全を図っている。また治山事業と森林造成事業を組 み合わせた流域全体の取組に発展している。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=16.85				
						緊急性 A	住民参加状況等 まちづくり委員会、各区の林務委員が積極的に参加し、境界の確 定や森林調査を実施している。				
14	かみむら 上村 〔飯田市〕	谷止工5個 山腹工0.15ha 落石固定工 (接着)24m3 (網)150㎡ 筋工67m 森林整備27.00ha 〔工期:H19～H23〕	森林整備11.00ha	谷止工4個 山腹工0.03ha	谷止工4個 山腹工0.03ha	必要性 A	59%	H22までに当初計画分は全て完了。 H23はH22年7月豪雨災により新たに荒廃した 渓流及び山腹への対策(谷止工4個、山腹工 1箇所)を実施する。	平成11年雪害、獣害 による森林の荒廃、過 密化を原因に森林の 災害防止効果が低下 しているため、施設整 備と森林整備を進め、 保安林の機能を向上 させる必要がある。平 成22年7月豪雨により 新たに渓流及び山腹 の荒廃が発生したた め、計画を変更し事業 を継続して実施し、平 成23年度での完了を 図る。	新たな荒廃に対す る追加対策の必要性 が認められる。 平成23年度での完 了を図る。	「拡大」
		1億7680万円	870万円	7210万円	7210万円	重要性 A	特記事項 H23変更 谷止工4個増、山腹工1箇所増、事業費7,680万円増、 工期1年増 H22年7月豪雨災による渓流から国道への新たな土砂流出に対 応。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=3.40				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
15	みなみ、あまの 南信濃 〔飯田市〕	谷止工4個 山腹工0.70ha 吹付工1,400㎡ 落石固定工7,450㎡ 筋工、伏工 ほか 森林整備34.00ha 〔工期:H20～H25〕	山腹工 0.05ha 落石固定工 750㎡ 森林整備34.00ha	山腹工 0.25ha 落石固定工 3,000㎡ 筋工、伏工	谷止工4個 山腹工0.49ha 落石固定工 6,050㎡ 森林整備22.00ha 〔工期:H20～H25〕	必要性 B	30%	H22から落石対策に着手。H23は落石対策を 進めるとともにH22年7月豪雨災により新たに 発生した山腹崩壊地の復旧を実施する。	平成21年8月の地震 の際には径1.2mの巨 石が国道152号線上に 落下するなど、落石が 安全な通行の大きな 脅威となっている。平 成22年7月豪雨により 新たに渓流及び山腹 の荒廃が発生したた め、計画を変更して事 業を継続して実施す る必要がある。	新たな荒廃に対す る追加対策の必要性 が認められる。	「拡大」
		2億7510万円	2920万円	6440万円	1億9300万円	重要性 A	特記事項 ○H22変更 山腹工1箇所(吹付工1,400㎡、落石固定工7,450㎡) 増、事業費1億8,100万円増 工期2年延長 H21年8月の地震により、国道へ巨石が落下。対策工を追加。 ○H23変更 谷止工2個増、山腹工1箇所(筋工、伏工)増、事業 費2,310万円増 工期1年延長 H22年7月豪雨災による渓流から国道への新たな土砂流出に 対応。				
						効率性 B	B/C(費用対効果)=1.5				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし				

分野	森林を育成する治山		事業番号、事業名	34 水源地域等保安林整備(奥地保安林保全緊急対策)		補助・単独別	補助	林務部 森林づくり推進課			
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
16	もりばら 門原 〔阿南町〕	床固工1個 護岸工41m 山腹工0.30ha 土留工5個 水路工141m 実播工900㎡ 吹付工493㎡ 筋工、伏工 ほか 森林整備50.00ha 〔工期：H20～H23〕	床固工1個 山腹工0.04ha 実播工400㎡ 吹付工117㎡	護岸工38m 山腹工0.25ha 土留工1個 実播工400㎡ 吹付工500㎡ 筋工、伏工	護岸工38m 山腹工0.25ha 土留工1個 実播工400㎡ 吹付工500㎡ 筋工、伏工	必要性 B	67%	H22までに床固工と森林整備が完了、山腹工の73%が完了。H23は残る護岸工と山腹工を実施し、完了予定。	流域の施設整備と森林整備を一体的に実施することにより、森林の持つ公益的機能を高め、下流域の保全を図る。平成22年7月豪雨により新たに山腹の崩壊が発生したため、計画を変更し事業を継続して実施し、平成23年度での完了を図る。	新たな山腹崩壊に対する追加対策の必要性が認められる。平成23年度での完了を図る。	「拡大」
		1億650万円	1630万円	3550万円	3550万円	重要性 B	特記事項 H23変更 山腹工1箇所増 事業費2,950万円増 H22年7月豪雨により発生した新たな山腹崩壊に対応する。 B/C(費用対効果)=7.80				
						効率性 A					
						緊急性 A	住民参加状況等 直接保全対象の水道施設等の管理を地元で実施しながら、周囲の森林状況を確認している				
17	おぼくさわ 大棕沢 〔平谷村〕	谷止工2個 山腹工0.10ha 土留工4個 水路工60m 筋工、伏工 森林整備30.00ha 〔工期：H22～H24〕	谷止工1個 山腹工0.10ha 土留工4個	谷止工1個 山腹工0.10ha 水路工60m 筋工、伏工 森林整備10.00ha	谷止工1個 山腹工0.10ha 水路工60m 筋工、伏工 森林整備30.00ha	必要性 B	47%	計画どおり進んでいる。H22に谷止工1個と山腹工のうち土留工完了。H23は谷止工1個と山腹緑化工及び森林整備を実施する	重要な水源林であることを考慮し、保安林の水土保全効果の向上を目的とした整備を一体的に行う必要がある。保全対象は遠いため、施設整備は最小限とした計画により、事業を継続する。	緊急性は認められる。	「継続」
		5500万円	2580万円	1640万円	2920万円	重要性 C	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=11.84				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
18	くみの 英野 〔根羽村〕	谷止工4個 森林整備51.00ha 〔工期：H22～H24〕	谷止工1個 森林整備9.00ha	谷止工2個 森林整備7.00ha	谷止工1個 森林整備26.00ha	必要性 B	46%	計画どおり進んでいる。H22は谷止工1個と森林整備の50%完了。H23は引き続き谷止工2個と森林整備を実施。	平成12年の豪雨災害により大きく荒廃した流域への対応であり、砂防事業との連携により対応する重要性の高い箇所であり、森林整備と施設整備を進めるため事業を継続する必要がある。	重要性が認められる。	「継続」
		1億1800万円	3700万円	5240万円	6340万円	重要性 A	特記事項 同一溪流の下流において計画されている砂防事業と調整、連携を図り事業を実施している。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=3.62				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				

分野	森林を育成する治山		事業番号、事業名	34 水源地域等保安林整備(奥地保安林保全緊急対策)		補助・単独別	補助	林務部 森林づくり推進課			
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
19	かきざね 柿其 〔南木曾町〕	谷止工3個 山腹工0.50ha 土留工4個 法枠工2,940㎡ 実播工590㎡ 吹付工310㎡ ほか 森林整備 23.00ha 〔工期:H19~H24〕.	山腹工0.22ha 土留工2個	山腹工0.22ha 土留工1個 実播工590㎡ 吹付工310㎡ ほか	山腹工0.50ha 土留工1個 法枠工1,920㎡ 実播工590㎡ 吹付工310㎡ ほか 森林整備18.00ha	必要性	50%	H22までに谷止工と山腹工2箇所中1箇所の上部を完了。H23は実施中の山腹工1箇所を完了させる。	平成18年7月豪雨災害により崩壊が発生し、不安定土砂も大量に堆積しているため、施設整備と森林整備により柿其溪谷と下流域の保全を図るために事業を継続する必要がある。	予定工期内の完了を図る。	「継続」
		重要性				特記事項 特になし。					
		効率性				B/C(費用対効果)=2.9					
		緊急性				住民参加状況等 特になし。					
		2億400万円	1630万円	3240万円	1億180万円						
20	くろかわ 黒川 〔松本市〕	床固工3個 護岸工58m 森林整備193.00ha 〔工期:H19~H24〕	護岸工58m	森林整備31.00ha	森林整備73.00ha	必要性	84%	H22までに床固工及び護岸工完了、森林整備46%を実施。H23は引き続き森林整備を実施	平成16年台風災害、平成18年7月豪雨災害により、重要な水源である黒川流域の森林、溪流が著しく荒廃しているため、森林整備と施設整備を一体的な実施する必要がある。最新の現地状況の精査の結果、自然復旧が見込まれる箇所があるため、残事業内容を見直して事業を縮小して実施する。	緊急性が認められる。	「縮小」
		重要性				特記事項 H23変更 床固工6個減、山腹工1箇所減 事業費9,560万円減 残事業量再調査により自然復旧が確認された箇所について実施を見送り					
		効率性				B/C(費用対効果)=5.00					
		緊急性				住民参加状況等 特になし					
		2億900万円	1860万円	1040万円	3420万円						
21	しおざわがわ 塩沢川 〔大町市〕	谷止工2個 山腹工0.35ha 土留工1個 暗渠工(ホーリング)160m 水路工300m 実播工1,800㎡ 排土工3,000㎡ ほか 森林整備15.00ha 〔工期:H21~H24〕	山腹工0.35ha 排土工1,500㎡	山腹工0.35ha 土留工1個 暗渠工(ホーリング)160m 水路工300m 実播工1,800㎡ 排土工1,500㎡ ほか	谷止工1個 山腹工0.35ha 土留工1個 暗渠工(ホーリング)160m 水路工300m 実播工1,800㎡ 排土工3,000㎡ ほか 森林整備12.00ha	必要性	35%	H22までに谷止工1個と山腹工の排土工の50%実施。H23は引き続き山腹工を実施する。	平成18年7月豪雨災害による山腹崩壊土砂が溪流内に堆積し、下流域に被害を及ぼすおそれがあるため、土砂の流出防止対策、災害防止効果の向上を目的とした森林整備を進めるために、事業を継続する必要がある。	予定工期内の完了を図る。	「継続」
		重要性				特記事項 特になし。					
		効率性				B/C(費用対効果)=2.42					
		緊急性				住民参加状況等 特になし。					
		1億9920万円	3100万円	6550万円	1億2970万円						

分野	森林を育成する治山		事業番号、事業名	34 水源地域等保安林整備(奥地保安林保全緊急対策)		補助・単独別	補助	林務部 森林づくり推進課				
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
22	まなき 鬼無里 〔長野市〕	谷止工3個 護岸工20m 山腹工0.12ha 土留工3個 水路工80m 筋工、伏工 森林整備57.00ha 〔工期：H19～H23〕	山腹工0.12ha 筋工、伏工 森林整備9.00ha	谷止工1個 護岸工20m 森林整備7.00ha	谷止工1個 護岸工20m 森林整備7.00ha	必要性 A	86%	計画どおり進んでいる。 H22までに谷止工2個と山腹工完了、森林整備の88%完了。H23は残る谷止工1個と護岸工を実施し、完了予定。	重要な水源地帯において、平成18年災害、H21年災害の復旧を図る施設整備に加え森林整備を実施し減災効果を高めていく。一部工事内容を見直し、事業を継続して実施し、平成23年度での完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
					重要性 A	特記事項 H23変更 山腹工1箇所減 谷止工嵩上1個増 事業費650万円増 ①山腹工計画箇所 経過観察の結果自然復旧の見込みがあるため、実施見送り。 ②谷止工計画箇所上流の溪岸の崩壊箇所への護岸工を追加。						
		1億1150万円	1530万円	1530万円	1530万円	効率性 A						B/C(費用対効果)=2.60
						緊急性 A						住民参加状況等 特になし。
23	やまでら 山寺 〔坂城町〕	谷止工1個 山腹工0.35ha 吹付工1397㎡ 法枠工220㎡ 落石防護柵工23m 森林整備13.00ha 〔工期：H20～H23〕	谷止工1個	山腹工0.20ha 落石防護柵工23m 森林整備3.00ha	山腹工0.20ha 落石防護柵工23m 森林整備3.00ha	必要性 A	75%	計画どおり進んでいる。 H22までに山腹工2箇所と谷止工1個を実施。 H23は残る小網地区の山腹工と森林整備を実施し完了予定。	斜面の緩み、落石が顕著となってきた箇所への対策を行い、県道の通行、人家等の保全を図る必要があるため、事業を継続して実施し、平成23年度での完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
						重要性 B						特記事項 H22変更 山腹工1箇所追加 事業費4000万円増 工期延長1年 H22年度事業要望により平成18年の落石箇所及びH21年豪雨により土砂が流出した箇所への対策を追加した。
		6180万円	1360万円	1530万円	1530万円	効率性 A						B/C(費用対効果)=3.05
						緊急性 A						住民参加状況等 特になし。
24	どじりがわ 土尻川 〔小川村〕	谷止工2個 山腹工1.35ha 土留工3個 アンカー工89本 吹付工560㎡ 実播工2,150㎡ 水路工54m 筋工、伏工 森林整備68.00ha 〔工期：H19～H23〕	谷止工1個 山腹工0.1ha アンカー工51本 実播工530㎡ 伏工800㎡	谷止工1個 森林整備5.00ha	谷止工1個 森林整備5.00ha	必要性 A	92%	H22までに夏和田の地すべり対策は完了。 H23は谷止工1個と森林整備を実施し、完了予定。	平成16年、平成21年の豪雨災害で荒廃した流域であり、地質的に脆弱であるため、下流域の保全のために事業の継続が必要である。最新の現地状況を精査の結果、自然復旧が見込まれる箇所があるため、残事業内容を見直し、事業を縮小してH23年度での完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「縮小」	
						重要性 A						特記事項 H23変更 谷止工7個減、事業費2億1,360万円減 残事業量再調査により自然復旧が確認される箇所について実施見送り
		2億7840万円	6300万円	2290万円	2290万円	効率性 A						B/C(費用対効果)=3.00
						緊急性 A						住民参加状況等 特になし。

分野	森林を育成する治山		事業番号、事業名	34 水源地域等保安林整備(奥地保安林保全緊急対策)		補助・単独別	補助	林務部 森林づくり推進課			
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
25	ひらたき 平滝 〔栄村〕	谷止工3個 谷止工機能強化1個 山腹工0.10ha 土留工3個 水路工40m 筋工、伏工 暗渠工(ポーリング)385m 森林整備154.00ha 〔工期:H19~H24〕	谷止工1個 山腹工0.10ha 暗渠工(ポーリング)385m 森林整備25.00ha	谷止工1個 森林整備24.00ha	谷止工1個 谷止工機能強化1個 森林整備51.00ha	必要性 A	65%	H22までに山腹工と谷止工2個完了、森林整備の67%を実施。H23は引き続き谷止工1個と森林整備を実施する。	上流域での湧水に起因する崩壊から泥流が発生する災害が過去から発生している箇所であり、流域の森林整備と施設整備を一体的に実施している。一部自然復旧が確認される箇所の事業内容を見直して事業を継続して実施していく。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
						重要性 A	特記事項 ○H22変更 暗渠工(ポーリング)増 事業費1億3,300万円増 工期1年延長 ①既設山腹から新たに湧水があり、対策工を増。 ②オマチ川上流域の詳細調査を実施して流出土砂量の想定に個づき、谷止工の構造を見直し。 ○H23変更 床固工3個減 残事業量再調査により自然復旧が確認される箇所について実施見送り				
		2億6780万円	6550万円	5350万円	9440万円	効率性 A	B/C(費用対効果)= 6.30				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし				
合計	25箇所	44億5470万円	8億490万円	9億7490万円	18億2650万円						

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	森林を育成する治山		事業番号、事業名				34 水源地域等保安林整備		補助・単独別		補助		林務部 森林づくり推進課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針			
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況						
1	にしほら 西洞 (木曾町)	谷止工9個 床固工4個 流路工62m 森林整備153.00ha (工期:H19~H23)	谷止工1個 床固工1個 森林整備28.00ha	床固工3個 流路工62m 森林整備15.00ha	床固工3個 流路工62m 森林整備15.00ha	必要性 A	91%	計画どおり進んでいる。 H22までに谷止工9個、床固工1個及び森林整備の90%が完了。H23に残る床固工3個と流路工、森林整備を実施し完了予定。	平成18年7月豪雨災害により崩壊が発生し、不安定土砂も大量に堆積しているため、施設整備と森林整備により下流域の保全を図るために事業を継続し、H23年度での完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」			
		2億7440万円	4360万円	2570万円	2570万円	重要性 A 特記事項 特になし。	効率性 B B/C(費用対効果)=1.90	緊急性 B 住民参加状況等 特になし。						
合計	1箇所	2億7440万円	4360万円	2570万円	2570万円		A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満							